

総務文教常任委員会

小・中学校連携

平成20年度の志免町教育行政の目標と主要施策の一つであり、小・中連携の取り組みを行うことで、教員同士の連携体制を築きつつあり、お互いの情報を共有し合い、教育課題が明らかになってきたことは大きな成果。

学校給食は

4月から食物アレルギー対応の給食が実施されている。内容は当面、卵・乳製

品・落花生・ごまの除去から取り組み、調理の最終段階で取り除き、牛乳は停止する。

食材の値上がりの対応は、各学校の栄養士で調査研究中。

志免中学校は年間10日前後、弁当の日を検討することのこと。

入札制度のあり方

一般競争入札の実施が契約の透明性や公平性を保つ方法と思われるが、地元業者の育成の観点か

最も制限価格制度、総合評価制度を取り入れてはどうかと提言したが、今の町の職員体制では無理という答弁。

入札のあり方はベストの制度はないが、地元業者の育成も大切にしながら、行財政改革の検討課題であるので、入札のあり方の問題・価格の問題・法令遵守・入札監視委員会などの制度を含めて再度検討するよう要請。



▲入札会場内

保育園民営化

4月1日から別府つくし保育園としてスタートし、委員会から強く要請していた別府保育園の嘱託職員の採用については14人(保育士11人、調理3人)が採用され、その内4人は正規職員となる。多くの保育士が残ったことにより、園児にとっては環境の変化が少なくなっている。

学童保育は

5月1日現在、待機児童は中央17人・東8人・西3人となっており、待機児童解消のため空き店舗の活用等の調査研究をするよう要請。

コミュニティの への設置

松ヶ丘団地は県営住宅なので議会として県へ意見書を提出。県としては対応できないとの回答。委員会として、補助金等の調査を行い、可能性を探り最大限に努力をしたが、県で対応してもらえないことは難しいとの結論。

医療制度改革と 健康づくり

後期高齢者医療保険料の決定通知は、特別徴収分だけ1,921件発送し、苦情等も来ているが制度の説明を行い、納得していただくように努めている。

特定健診・保健指導については、40歳から64歳の対象者3,643人で一人当たり健診単価は3,900円で個人負担500円。65歳から74歳の対象者は2,929人。生活習慣病の予防や改善に結果が求められる。

町の重要な問題を 委員会

調査・研究 報告

建設常任委員会

水道事業の経営

御笠川の河川改修も終わり、集水管の新設で、きれいな水が取水されている。19年度、4回の漏水調査を行ない、管延長は136km、11件の漏水修理済み。20年度は下水道関連配水管布設替工事12件、単独8件。

下水道事業の状況

20年度、下水道築造工事11件予定。5月末現在処理区域内人口3万3,246人に対し、水洗化人口3万976人で、水洗化率93.17%。

都市計画街路

志免・宇美線

本年度宇美町の土地買

桜丘団地の 公共下水道接続

取のため4億5,000万円の事業費内示。4月30日に地元代表者に町の考え方について説明をしたとの報告を受けた。



▲竣工時(昭和46年)の桜丘下水処理場

議会運営委員会

委員会視察研修については、地方分権の時代に議員の資質向上が望まれ、研修も大事になってくる。

委員会視察研修制度の確立と推進を図っていくこととし、4常任委員会の現行の視察研修費を半減するということで全員賛成により議長に答申。会派制について、志免町議会基本条例策定に関しては引き続き調査研究をすることとした。

福岡都市圏広域行政 調査特別委員会

休会としていた志免・宇美・須恵3町の合同委員会について5月12日に須恵町で3町正副委員長会議を開催。正副委員長会議だけは定期的に開催する。空港問題については、委員会の中で協議していく。

志鋺跡地対策特別委員会

平成20年6月3日、3町代表者会議を開催。ポタ山開発については土地貸付料金問題について、現在3町(志免・須恵・粕屋)の足並みがそろわず、また経済情勢が厳しい折、具体的な対策は進んでいない。今後の利用方針について提案され、売却・借地などの意見が出され、公共的な利用に限り借地できる利用方針を決定した。

議会広報特別委員会

第48号発行に関して、7日間の編集委員会を開く。新年度の入札で新たに(株)九州チューエツが決まり、編集方針、日程の打ち合わせを行う。48号から、議員から出された一般質問の追跡事案、裏面には住民の声を反映する取り組みで、個人・団体の活動を掲載することとした。